



山崎橋 想像図(奈良・平安時代)
2班 山本喜三郎 画

第 1 6 9 号

発行日 令和4年3月10日
発行元 大山崎ふるさとガイドの会(OFG)
発行責任者 矢内章太
連絡先 大山崎町歴史資料館内
TEL 075 (952) 6288, FAX 075 (952) 6289
URL <https://www007.upp.so-net.ne.jp/ofg/>



「令和4年度・ガイド養成講座の受講生募集中」

養成講座実行委員会 委員長 池田 弘

大山崎町は奈良の大仏様が造られた頃、大変賑わっていた町です。その後も「山崎合戦」や「禁門の変」など、歴史の変わり目に登場する、歴史に囲まれた町です。

大山崎町を紹介する為、平成8年に「大山崎ふるさとガイドの会」が結成されました。令和4年春、10回目の「大山崎ふるさと案内人歴史講座」を開催することになり受講生を募集しています。この機会に歴史を学びたい、大山崎の歴史を紹介するガイドになりたいと思われる方々は、この養成講座に参加申込されるよう、お勧めします。

***コロナ対応**・数々のコロナ対策を取り、コロナに配慮した会場で行います。

***講義内容**・大山崎の歴史を学ぶ講義
大山崎ふるさとガイドの会(OFG)の活動を紹介する講座、大山崎の見どころの現場で実際のガイドを見て頂く講座等があります。

***講座期間**・令和4年5月～12月まで
第三木曜日午後開催します。

***講義場所**・大山崎中央公民館、大山崎ふるさとセンター、大山崎町内見どころ。

***受講料**・3,000円

***申込方法**・申込書に記入の上、大山崎ふるさとセンター内 大山崎ふるさとガイドの会へお送りください。申込書、送付方法はチラシ、OFGのホームページより入手願います。

***申込締切日**・5月12日(木)

***講義一覧**・・・下記の通りです。
(コロナ状況で内容が変更される場合があります)

月日	演 題
05.19	開講式 大山崎の概要 大山崎の歴史：古墳、瓦窯
06.16	歴史資料館紹介と館内ガイド OFGの年間活動報告
07.21	大山崎の歴史：古代街道 行基と山崎橋 OFG出前ガイド (懇談会)
09.15	妙喜庵、聴竹居見学 現地学習：大山崎地区 (懇談会)
10.20	大山崎の歴史；中世都市大山崎とえごま 現地学習：円明寺地区
11.17	大山崎の歴史：近世の陸運、水運 現地学習：下植野地区 (懇談会)
12.15	大山崎の歴史：本能寺の変から山崎合戦 閉講式

***問合せ先**・OFG：池田 (080-8340-0361)
和泉 (090-7490-4183)

***詳細情報**・OFGのホームページ、
又はチラシをご覧ください。

1月～2月の活動実績(※一部12月データを追加)

- 主なガイド
 - 1月24日(月)あちこち学習山歩63向日市史跡 19名
 - 1月25日(火)リビングツアー(柵)アローズ 5名
- 会の行事など
 - OFG歴史講演会(※出席者数追加)
 - 12月4日(土)「近江南部の戦国大名一六角氏」※39名
 - 2月6日(日)「豊臣秀吉の城づくり」(中止)
 - 全体学習会(※出席者数追加)
 - 12月5日(日)「離宮八幡宮縁起」禰宜 津田定豊氏
離宮八幡宮で荏胡麻油絞りの実演研修 ※35名
 - 12月10日(金)14日(火)「観音寺」 ※33名

活動予定

- 主なガイド、行事予定
 - 3月26日(土) 水辺の散策
- 行事予定
 - 4月14日(木) 令和4年度 定期総会
 - 5月19日(木) 養成講座開講
- 大山崎町歴史資料館 『井尻家文書』講演会
 - 3月21日(月・祝)『井尻家文書』とその文化財的意義
 - 3月26日(土)『井尻家文書』を読む
- アサヒビール大山崎山荘美術館 新企画展
 - 3月19日(土)「コレクション 春一所蔵作品による作品展」

1～2月 ガイド実績

	一般ガイド		歴史資料館		旗立松		瓦窯跡公園		山荘庭園		合計	
1～2月	2件	13人	件	人	件	人	件	人	件	人	2件	13人
令和3年度累計	18件	323人	162件	120人	175件	613人	122件	241人	111件	272人	588件	1678人

OFG 歴史講演会

南近江南部の戦国大名一六角氏について

新型コロナウイルス感染拡大のため、延び延びになっていた講演会が実現しました。12月4日ふるさとセンターに近畿大学教授新谷和之氏をお迎えし、「南近江の戦国大名一六角氏について」講演していただきました。

六角氏が宇多源氏の流れをくみ南近江の守護として永きにわたり実効支配してきたこと、また北近江の京極家と幕政においても共に肩を並べる存在であったことに驚きました。

未熟な私の日本史で六角承禎なる人物を知ったのは、永井路子さんの小説「流星」の中です。この本は織田信長の妹お市の方の生涯を描いた小説です。勿論小説ですので、作り事であったり、誇張であったり、また作家自身の想いもあるでしょうが、その中で六角氏にはとても好感をもてなかったのです。

これが歴史という本筋を知らない私です。でも今回の講演を聞いてもう一度六角氏のことを知ってみようと思います。六角氏の居城であった観音寺城跡には、ぜひ行ってみたいと思います。

(4班 北 美千代 記)

あちこち学習山歩 ㊦ 向日市竹の径コース

1月24日9:00 阪急東向日駅に集合。今回のガイドは、3班野尻さん、加藤さん、4班市川さん。

コースは桓武天皇皇后稜～寺戸大塚古墳～竹林公園～物集女城跡～淳和天皇火葬塚～物集女車塚古墳～東向日駅。竹の径コースのあちこち学習山歩です。向日市特産の孟宗竹を使って、平成12年から整備されたのが竹の径です。竹の径は竹の枝を束ねた8種類の竹垣を使った1.8kmにおよぶ竹林道です。

主に使われている竹垣は次のとおりです。

- ① 竹穂垣：竹の枝を十分生かし美しく、竹の径で多く使われています。
- ② 寺戸垣：格子の間から見える竹林がまた違った趣となるよう職人の技が感じられます。
- ④ 物集女垣：竹を縦横に配置して物集女城壁をイメージして、竹本来の美しさが見られます。
- ⑤ 古墳垣：寺戸大塚古墳にあり、前方後円墳のような丸みを帯びた職人の技が感じられます。

きれいな竹垣を見歩きながら楽しみ、竹林公園では30分ぐらいの散策休憩。物集女では物集女城跡、淳和天皇火葬塚、物集女車塚を見学して、東向日駅で解散しました。

(1班 平岡 保 記)

見学学習会 霊山歴史館、京都霊山護国神社

「霊山歴史館」には幕末維新の5000点以上の収集資料があり、展覧会ごとに100点程度展示しているとのこと。展示の目玉は「龍馬を切った刀」なのでしょうが、「体験」「クイズ」「池田屋襲撃再現模型」等のコーナーも常設され、小学生から高齢者まで楽しめる工夫がされていると思いました。なお、収集資料の中に勤王派を弾圧した井伊直弼の遺品・書状があるのか「館内ガイド」がいれば是非確認したかったです。

一方「京都霊山護国神社」は、明治維新の志士達の墓・慰霊碑の数の多さに圧倒されました。

市内の眺望も素晴らしく、紅葉も始まり、久しぶりの楽しい京都市内散策となりました。

(3班 田口 准 記)



全体学習会

講演 「離宮八幡宮縁起とまつわるお話」 「離宮八幡宮ガイドの注意点」

上記のテーマで離宮八幡宮禰宜、津田定豊氏をお迎えし、大山崎ふるさとセンター3Fにおいて、OFGメンバー35名の参加で講演頂きました。

私にとって離宮八幡宮はガイドする中で、難解で敷居の高かった場所。縁起を覚え、石清水八幡宮との関係や製油のはじまり、幕末の禁門の変などなど..。身構えることしきり。

しかし今回の講演に参加させて頂き、離宮八幡宮にまつわる色々なお話をお聴きし、そして何よりも津田定豊氏の柔らかな語り口が、ガイド時の構えていた私の肩の力を抜いてくれた様に思います。

そして講演後のえごま搾りの実演。

会場を離宮八幡宮の境内に移し、「大山崎えごまクラブ」の方たちの協力のもと、実際の2分の1のサイズという長木式の搾油道具で、てこの原理を使い搾られたえごま油。

もちろん当時は人力しかなく、かなりの力仕事。「ポトポト」と滴り落ちてくるえごま油をみて超感動!!実際に搾られる様子を見るのは初めて。

現在では健康食品としてブームになり、あちこちのお店で売られていて手に入れるのはたやすいですが、食用としてのえごま油をみて、往時の人々ほどのように感じられるのでしょうか?

(2班 小西 弥生 記)



編集後記

令和3年度の最終号を発行します。本年度もコロナ不安の中、5回発刊できました。取材、執筆にご協力いただき感謝申し上げます。

秋の定点ガイド 旗立松・瓦窯跡・美術館庭園

2021年秋11月の土・日・祝日に、町内三か所で定点ガイドを実施しました。

新しい出会い～お客様は「秀吉が陣取った旗立松」から戦いの場所を見下ろし、小泉川を挟んで光秀軍VS秀吉軍の戦いを偲び、男山の洞ヶ峠で筒井順慶を待つ光秀の心境をしのびました。「瓦窯跡公園」では、平安京造営には大量の瓦を必要とし、舟運を利用する津が山崎に存在したことに感銘しておりました。また「アサヒビール大山崎山荘庭園」では100年に及ぶ歴史ある英国チューダー様式の美術館と、調和した風光明媚な庭園でひとときの休憩をしながら耳を傾けてくれました。

そのような出会いを通じて、ガイドさせて貰った繋がりを大切に、今回の定点三か所以外でも沢山の史跡、三川合流の水辺の散策などを紹介し、また訪れてもらえるよう、そして養成講座に参加して貰えるよう働きかけ期待するところです。

(定点ガイド担当監事 山本 復一 記)